

未来づくりと環境

世界では、地球温暖化による異常気象が頻発し、地球温暖化対策として始まった脱炭素化の動きが一層加速されています。こうした現況において、技術の平和利用はもとより、人間に寄り添い地球環境に配慮するなど、工学の専門家には人間としても社会・世界から信頼される資質が求められています。

名古屋工業大学は創設以来、常に産業界の要請に応え、数多くの優れた学術・技術の創出と優れた人材を輩出してきました。工学は「ものづくり」に関わりますが、その「もの」は究極的に人とつながっています。そこで人との関りを重視する学問・技術としての工学を意識し、本学では工学とは心すべきものと考え、「心で工学」を合言葉に、教育〔ひとづくり〕を実践し、社会貢献「未来づくり」を行っています。

本学は、環境に配慮した事業所として「名古屋市 SDGs グリーンパートナーズエコ事業所」の認定を、2008年以降現在まで継続して受けています。これをベースラインとするとともに、現在進めているアートフルキャンパス（※）をプラットフォームとして、リベラルアーツ教育にも重点を置き、感性と論理性の両輪を磨き上げる「ひとづくり」の環境整備にも力を入れてまいります。

そのためには、本学の構成員一人一人が地球環境に対する配慮を意識し、産業界や地域社会とともに継続的に環境問題に取り組んでいくことが極めて重要です。同時に、キャンパスを取り巻く環境の現状を正しく認識し、現状の問題点や課題を適切に把握・分析して改善に繋ぐため、ここに本年度の環境報告書を取りまとめ、現時点におけるキャンパスの状況を客観的に見つめてみました。

2024年9月

国立大学法人名古屋工業大学長

環境最高責任者

小畑 誠



※アートフルキャンパス構想とは

ARTFUL CAMPUS

名古屋工業大学御器所キャンパスは産業基盤創出・産業人育成のプラットフォームとしての役割を果たしています。

愛知県立芸術大学の協力のもと、高度な工学の基盤であるキャンパスへアートによる風を取り入れます。

芸術に親しむことによって、“心の豊かさ”を育み、自己の客観視、社会との対話、工学を俯瞰するための時間とキャンパス空間を構築します。

<https://artfulcampus.com/>